

ネパール緊急支援 支援金のお願い

TCPはネパール大震災で被災された方々を直接支援するため、緊急の支援金を募集いたします。

TCPの里親サポーターをして下さっている眼科医の松山先生が理事長をされているEyeAssociation For the Himalayanを通じ、現地の直接支援にご協力をさせていただきます。

もともと先生のチームは医療活動のため、明日ネパールに向けて出発される予定でした。EyeAssociation For the Himalayanは、医療を受ける事が困難な山岳部にキャラバンを組んで手術に出掛けるなど、優れた行動力とガッツに溢れた団体です。現地での堅実な活動実績があり、実情にも明るいです。日本の医療スタッフ全員が個人の休暇を利用して、全て自己負担での参加と言う、信じられないような利他精神と行動力の団体です。

具体的な支援内容としては、EyeAssociation For the Himalayanの現地のスタッフを通じて、大きな病院に行くことが出来ない山岳部の村人に、医薬品と食料を届けてもらいます。またこれまで、EyeAssociation For the Himalayanが4回に渡って医療キャンプを行ってきた震源地付近のゴルカ地方も、状況が整い次第、出来る限りの支援をして頂く予定です。しかしながら、現地の被災状況の全貌が明らかでない今、他に緊急度の高い支援が発生した場合は、スタッフの判断によりそちらに支援金を使って頂きます。

万が一、現在の想定を超える金額が集まった場合は、緊急の医薬品、食料支援の終了後、順次、下記のような必要な活動に支援金を回します。

- ・ EyeAssociation For the Himalayan が6年間かけて作った村人のためのクリニックが損壊しているため、この再建費用。
- ・ 孤児院、ヒマヤラの子どもの学校などの被災部分の修理費用。
- ・ ネパール眼科病院、ルンビニ医科大学教育病院の修復。
- ・ ゴルカ地方の小学校の修理費用

EyeAssociation For the HimalayanとTCPをご信頼頂き、全ての活動の内容を現地スタッフに一任しても良いとおっしゃる方は、どうぞご寄附をお願いいたします。他のどのような支援の枠組みよりも確実に、100%の金額が被災者の方々に届きます。

また支援活動の内容に関しては、有名な支援団体の様に広報やカメラマンが同行しませんので、基本的にはビジュアル的なご報告は出来ないと考えてください。会計の詳細も同じです。大きくてマンパワーも資金もある団体の様に、華やかな報告書は作れませんが、その分のすべての資金がきちんと現場に還元されます。どうぞその点は、ご信用下さい。

支援金は一度、TCP で取りまとめた上で、EyeAssociation For the Himalayan にお渡しします。現在、EyeAssociation For the Himalayan のネパールにある活動資金を先にお借りする形で、既に支援活動が始まっています。

支援金は、TCP の口座へのお振り込みでお願いいたします。

■お振込先口座■

【ゆうちょ銀行よりお振替の場合】

ゆうちょ銀行 記号：10360 番号：14421111 口座名義：TCP

【他行よりお振替の場合】

ゆうちょ銀行 店名：ゼロサンハチ 店番号：038

普通預金 口座番号：1442111 口座名義：TCP

お振込の際には、「ネパール大地震」と通信欄にご記載下さい。
書き忘れた方は、TCP 事務局までご連絡ください。info@tcp-np.com

なお、お申し出頂きました方には EyeAssociation For the Himalayan から領収書が発行されますので、必要な方は TCP 東京事務所：石川までご連絡ください。

地震からの復興は長丁場です。ひとまず、ネパール大地震の支援に関し TCP の支援金の募集は 5 月末までとさせて頂き、状況を見ながら次の支援のステップを考えたいと思います。TCP も診療所が被災している様子ですが、詳細が確認できていません。しかしまずは、より困難な状況にある方々の支援を優先したいと考えています。皆様、是非ご協力ください。

2015 年 4 月 27 日

チベタン・チルドレンズ・プロジェクト (TCP)

東京事務所：石川幸

EyeAssociation For the Himalayan

2010 年 4 月に設立された団体です。

ヒマラヤの人々を失明の危機から救うことを目的として活動されています。現在では、眼科のみならず小児科や皮膚科の先生もネパールまで医療キャンプにお越し下さり、医療を受けることが困難な地区の患者さんのために、山岳部にキャラバンを組んで手術に出掛けたり、貧困のために治療を受けられない人々に対し、無償で医療を提供されています。